

〔2〕 高齢の人々・障害のある人々のために

1 高齢の人々の生きがいと健康

- (1)「生涯現役」の環境づくり
- (2)高齢の人々の健康づくり

2 高齢の人々の生活支援

- (1)高齢の人々が安心できる生活支援
- (2)介護サービスの充実

3 障害のある人々の生活支援

- (1)障害に関する生活支援
- (2)精神障害のある人々の社会復帰への支援
- (3)発達障害者(児)へのライフステージに応じた支援

4 福祉のまちづくり

- (1)ユニバーサルデザインの促進
- (2)心のバリアフリーと福祉ネットワークづくり

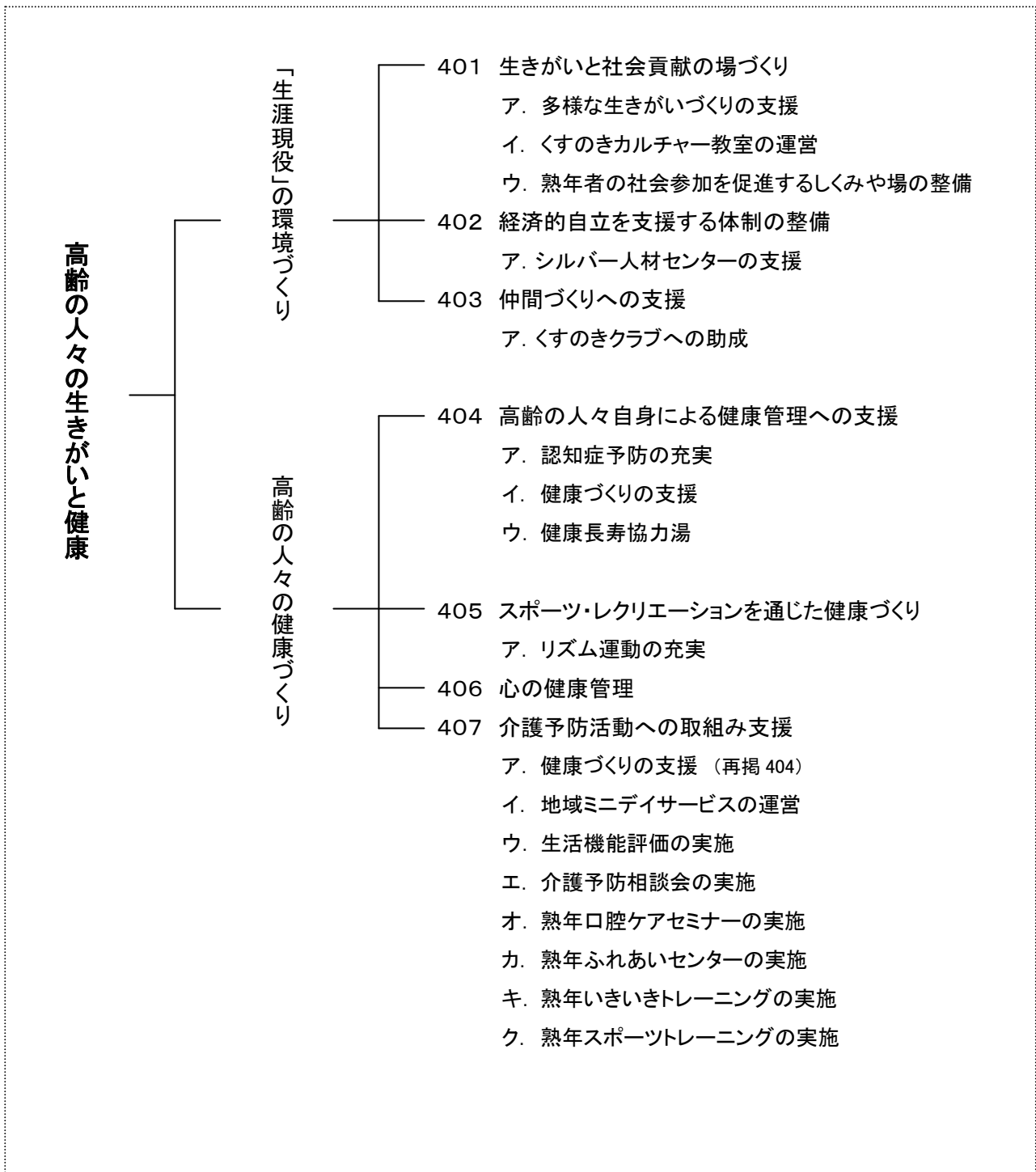
1 高齢の人々の生きがいと健康

【施策の考え方】

熟年者にとって、健康であるとともに、「生涯現役」として、自己の経験を活かして、いつまでも地域社会で活躍できることは、生きがいのある人生を送るうえで重要な考え方の一つです。

これまでも区は、くすのきカルチャー教室をはじめとする学習機会の提供やリズム運動等のスポーツ・レクリエーション事業、シルバー人材センターの生きがい就労事業、くすのきクラブや総合人生大学等の社会参加促進事業をとおして、熟年者の生きがいづくりを進めてきました。今後も、これらの取組みを基礎に、熟年者の多様化するニーズに対応した生きがいづくりを支援するとともに、介護予防を推進し、健康で生きがいのある生活を支える施策の展開を図ります。

【施策体系図】



(1)「生涯現役」の環境づくり

401 生きがいと社会貢献の場づくり

リズム運動大会、熟年者囲碁・将棋大会、さわやか体育祭、熟年文化祭等、熟年者が生きがいをもって健康で元気な生活を送れる場の提供の充実を図っていきます。また、くすのきカルチャー教室については、自身の生きがいづくりや仲間づくりの支援を図るとともに、社会貢献活動のきっかけとなる学習の機会の提供に努めます。さらに、熟年者の社会参加を促進するため、多様化するニーズの調査研究を行い、的確な支援策を講じていきます。

施策コード	401	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
多様な生きがいづくりの支援	継続	同左	同左	
事業費	22,494千円	22,494千円	22,494千円	
くすのきカルチャー教室の 運営	正規教室 87 自主活動教室 315	同左	同左	
事業費	212,198千円	212,198千円	212,198千円	
熟年者の社会参加を促進 するしくみや場の整備	調査研究	適宜実施	同左	
事業費	0千円	※※※千円	※※※千円	

402 経済的自立を支援する体制の整備

公益社団法人シルバー人材センター江戸川区高齢者事業団と協力し、民間企業への就業開拓等を積極的に行い、会員数の増加に応じた就業の確保を図ることで、就労を通じた熟年者の生きがいづくりを支援していきます。

施策コード	402	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
シルバー人材センター の支援	会員数 4,300人 就業会員数 2,300人	会員数 4,400人 就業会員数 2,400人	会員数 4,500人 就業会員数 2,500人	
事業費	188,180千円	188,180千円	188,180千円	

403 仲間づくりへの支援

くすのきクラブの活動を通して、熟年者が地域において健康で生きがいのある生活を送れるように支援していきます。併せて活動の一層の活性化を図るため、多様な機会を通じて、くすのきクラブのPRを図り、加入者の増加に結び付けていきます。

施策コード	403	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
くすのきクラブへの助成	207クラブ	208クラブ	209クラブ	
事業費	55,644千円	55,644千円	55,644千円	

(2) 高齢の人々の健康づくり

404 高齢の人々自身による健康管理への支援

専門医による、もの忘れに関する相談を実施するとともに、認知症予防に関する講習会の開催、相談支援等を行い、認知症の予防に努めます。併せて、運動・栄養指導、口腔ケア、閉じこもり予防等に関する講座等を開催し、熟年者の生活機能の低下の防止を図ります。

また、65歳以上の熟年者が、入浴料金の半額程度で公衆浴場を利用できるように助成することで、健康増進と地域の人々や世代間の交流を促進していきます。

施策コード	404	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
認知症予防の充実	教室・相談・講習会等の実施	同左	同左	
事業費	2,450千円	2,450千円	2,450千円	
健康づくりの支援	口腔ケア、栄養、運動指導等の健康講座・教室の開催	同左	同左	
事業費	1,004千円	1,000千円	1,000千円	
健康長寿協力湯	利用者数 延1,229,550人	利用者数 延1,230,500人	利用者数 延1,231,450人	
事業費	269,261千円	269,261千円	269,261千円	

405 スポーツ・レクリエーションを通じた健康づくり

熟年者の生きがいづくりや仲間づくりの支援を図るとともに、介護予防を推進するため、リズム運動の参加人員の拡大に努めます。

施策コード	405	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
リズム運動の充実	参加実人員 10,500人	参加実人員 10,750人	参加実人員 11,000人	
事業費	131,230千円	131,230千円	131,230千円	

406 心の健康管理

高齢の人々が感じる老いへの不安、孤独感等に、きめ細かく対応する相談体制を整備します。

407 介護予防活動への取組み支援

介護が必要となる状態を予防するとともに、介護が必要となった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するため、地域支援事業等の充実を図ります。

また、65歳以上の熟年者に対して、国保、長寿、福祉の各健診と同時に、生活機能評価を実施し、二次予防事業対象者を選定します。熟年口腔ケアセミナー、熟年いきいきトレーニング等の体の状態に則した事業に参加し、介護予防活動を推進していきます。

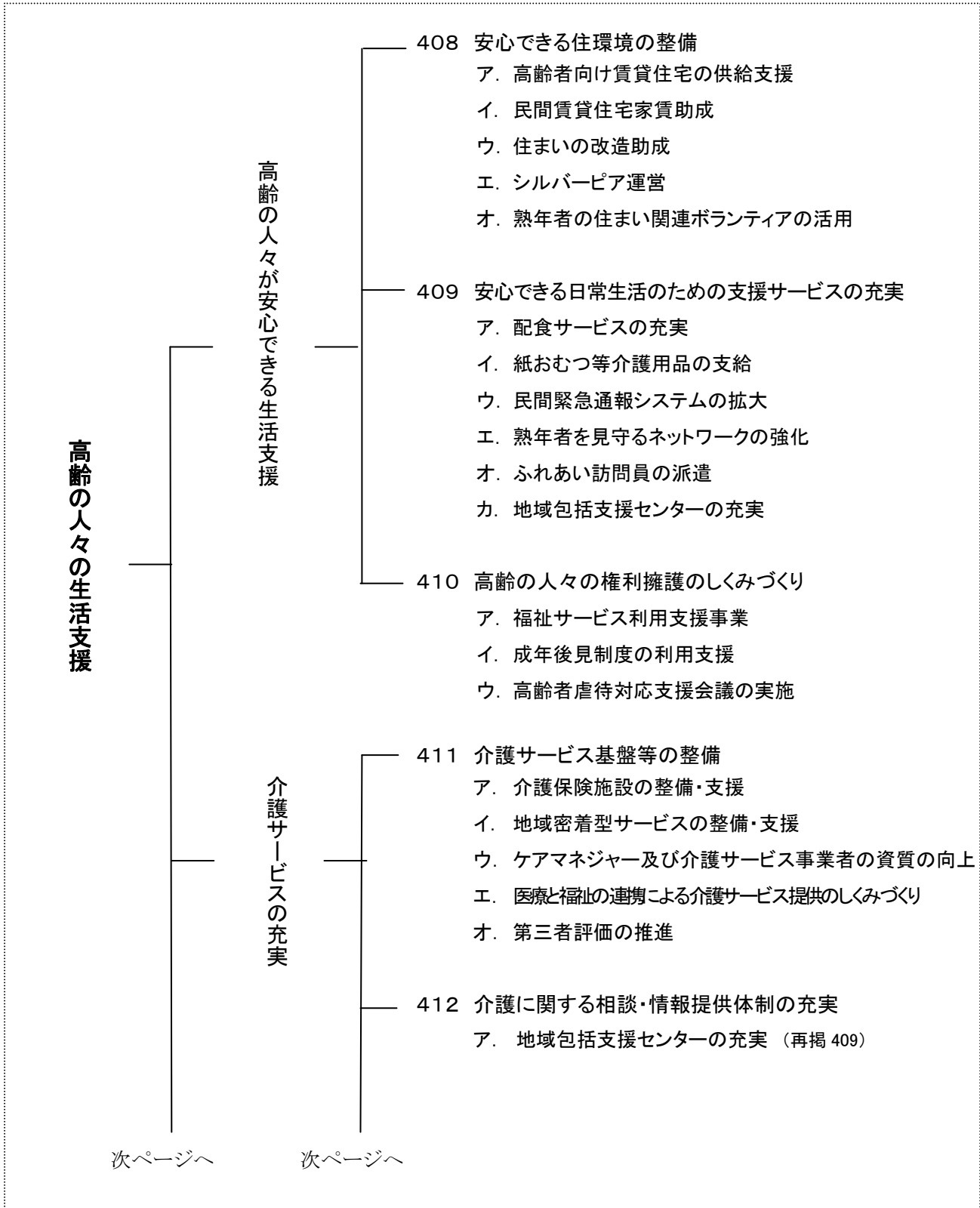
施策コード	407	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
健康づくりの支援 再掲 404	口腔ケア、栄養、 運動指導等 の健康講座・教室の開催	同左	同左	
事業費	—千円	—千円	—千円	
地域ミニデイサービスの 運営	34か所	35か所	36か所	
事業費	1,944千円	2,100千円	2,100千円	
生活機能評価の実施	実施	同左	同左	
事業費	107,364千円	※※※千円	※※※千円	
介護予防相談会の実施	実施	同左	同左	
事業費	18,990千円	※※※千円	※※※千円	
熟年口腔ケアセミナーの 実施	定員30名 10回開催	同左	同左	
事業費	4,445千円	※※※千円	※※※千円	
熟年ふれあいセンターの 実施	4ヶ所49クラス 25名 定員	同左	同左	
事業費	245,251千円	※※※千円	※※※千円	
熟年いきいきトレーニングの 実施	実施	同左	同左	
事業費	67,536千円	※※※千円	※※※千円	
熟年スポーツトレーニングの 実施	定員480名	同左	同左	
事業費	5,592千円	※※※千円	※※※千円	

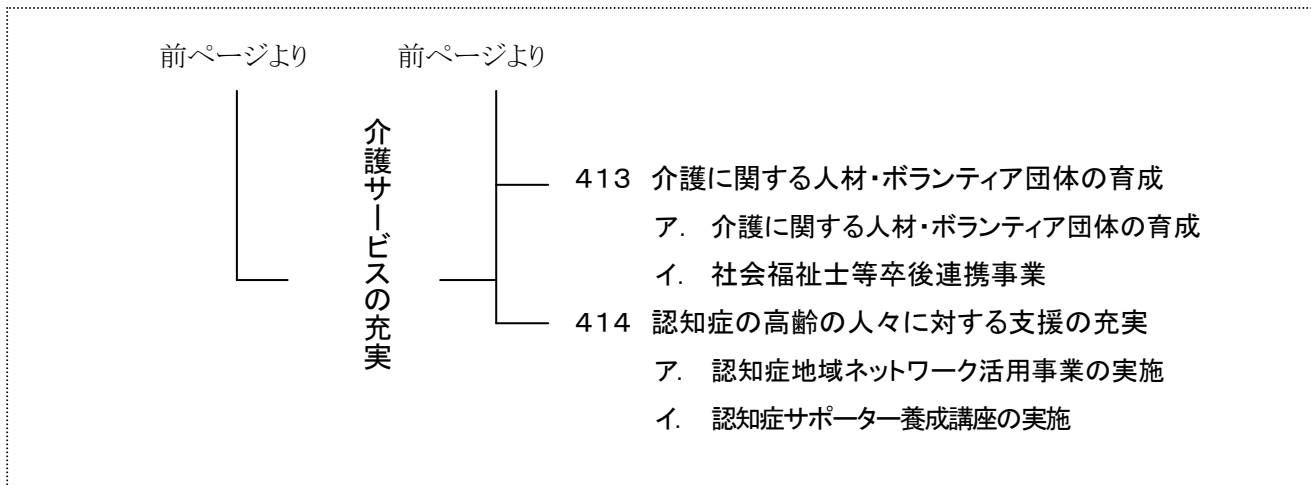
2 高齢の人々の生活支援

【施策の考え方】

高齢の人々が、日常生活を安心して送れるようきめ細かな支援を行います。また、介護が必要となったときに、住み慣れた地域で安心して生活していくことができるよう、介護サービスの基盤整備を進めるとともに、保健・医療・福祉の一体的なサービス提供のしくみづくり、介護の相談体制の充実等を図り、適切なサービスが提供できる体制を整備します。

【施策体系図】





(1) 高齢の人々が安心できる生活支援

408 安心できる住環境の整備

熟年者が住み慣れた地域にいつまでも安全に安心して住み続けられるよう、その状態に応じた多様な住まいの普及・整備の促進に努めるとともに、高齢者向け賃貸住宅の供給支援、民間賃貸住宅家賃助成[※]、住まいの改造助成、シルバーピア運営等の実施を推進することにより、熟年者がより安心して住み続けられる住まいの確保・改善等を図ります。

※ 民間賃貸住宅家賃助成: 建物の取り壊し等で家主から転居を迫られた熟年者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、緊急処置として住み替え家賃の差額を助成する。

施策コード	408	年次計画		
		24年度	25年度	26年度
計画事業内容				
高齢者向け賃貸住宅の供給支援	事業者募集	同左	同左	同左
事業費	47,996千円	***千円	***千円	***千円
民間賃貸住宅家賃助成	280件	同左	同左	同左
事業費	99,927千円	100,000千円	100,000千円	100,000千円
住まいの改造助成	170件	同左	同左	同左
事業費	51,373千円	51,373千円	51,373千円	51,373千円
シルバーピア運営	50世帯	同左	同左	同左
事業費	6,321千円	6,300千円	6,300千円	6,300千円
熟年者の住まい関連ボランティアの活用	ボランティアの活用	同左	同左	同左
事業費	2,080千円	2,100千円	2,100千円	2,100千円

409 安心できる日常生活のための支援サービスの充実

民生委員、地域包括支援センター等と連携を図りながら、目配りが必要な熟年者の安否確認等を行う地域ネットワーク体制の充実を図るとともに、民間緊急通報システムを活用し、熟年者が住み慣れた地域にいつまでも安心して住み続けられる体制づくりに努めます。

また、食事づくりが困難な熟年者に対する配食サービスを充実し、いきがいと潤いのある生活維持を図ります。

施策コード	409	年次計画		
		24年度	25年度	26年度
計画事業内容				
配食サービスの充実	一般向け配食 利用者421人／月	一般向け配食 利用者440人／月	一般向け配食 利用者460人／月	
	虚弱者向け配食 利用者424人／月	虚弱者向け配食 利用者440人／月	虚弱者向け配食 利用者460人／月	
事業費	49,130千円	50,933千円	53,330千円	
紙おむつ等介護用品の支給	延べ64,538人	延べ68,437人	延べ72,571人	
事業費	477,362千円	454,937千円	481,743千円	
民間緊急通報システムの拡大	設置数875 か所	設置数 1,000か所	設置数 1,025か所	
事業費	16,205千円	17,705千円	18,005千円	
熟年者を見守るネットワークの強化	運営体制の整備	運営体制の強化	同左	
事業費	871千円	875千円	880千円	
ふれあい訪問員の派遣	訪問員数135人 対象世帯の拡大	訪問員数138人 同左	訪問員数140人 同左	
事業費	4,233千円	4,245千円	4,260千円	
地域包括支援センターの充実	船堀・篠崎地区の 2か所を整備	必要に応じ、重点整備 地区を設定し整備	必要に応じ、重点整備 地区を設定し整備	
事業費	18,000千円	※※※千円	※※※千円	

410 高齢の人々の権利擁護のしくみづくり

社会福祉協議会の安心生活センターを権利擁護の中心的な機関として位置づけ、判断能力に不安のある熟年者が安心して福祉サービスの利用、資産管理等を行えるよう支援します。

併せて、福祉サービスの利用相談、苦情解決相談、成年後見制度^{*}の利用相談及び区長申立てに係る事務を社会福祉協議会に委託実施します。

また、従来の高齢者虐待対応支援ネットワーク会議を平成 24 年度より、(仮称)熟年者支援ネットワーク会議の分科会として開催し、関係機関との連携を密にしていきます。

^{*}成年後見制度:判断能力の不十分な認知症高齢者や知的障害のある人、精神障害のある人等を保護するための民法上の制度。

施策コード	410	年次計画		
事業計画の内容	24年度	25年度	26年度	
福祉サービス利用支援事業	相談事業等の充実 安心生活サポート事業 30件	相談事業等の充実 安心生活サポート事業 40件	相談事業等の充実 安心生活サポート事業 50件	
事業費	2,407千円	2,407千円	2,407千円	
成年後見制度の利用支援	法人後見 22件(累計) 区長申立て 25件 職能後見人等への 報酬助成 10件	法人後見 25件(累計) 区長申立て 25件 職能後見人等への 報酬助成 15件	法人後見 28件(累計) 区長申立て 25件 職能後見人等への 報酬助成 20件	
事業費	4,695千円	5,775千円	6,855千円	
高齢者虐待対応支援会議の 実施	高齢者虐待対応支援 会議の実施	同左	同左	
事業費	397千円	397千円	397千円	

(2) 介護サービスの充実

411 介護サービス基盤等の整備

「江戸川区介護保険事業計画」に基づき、適切な介護サービスの基盤整備を支援します。併せて、地域密着型サービス事業者に対する第三者評価の実施の支援、介護支援専門員及び介護サービス事業者に対する研修等を実施し、介護サービスの質の向上に努めます。

施策コード	411	年次計画		
事業計画の内容	24年度	25年度	26年度	
介護保険施設 の整備・支援	介護老人福祉施設 2ヶ所の整備支援	介護老人福祉施設 2ヶ所開設	整備支援	
事業費	470,580千円	12,936千円	※※※千円	
地域密着型サービス の整備・支援	小規模多機能型 居宅介護等の整備	整備支援	同左	
事業費	100,000千円	※※※千円	※※※千円	
ケアマネジャー及び介護サ ービス事業者の資質の向上	介護事業者向け研修の 充実	同左	同左	
事業費	8,427千円	※※※千円	※※※千円	
医療と福祉の連携による 介護サービス提供のしくみ づくり	介護連絡ノートの普及・ 推進	同左	同左	
事業費	840千円	※※※千円	※※※千円	

第三者評価の推進	地域密着型サービス第三者評価受審費用助成	同左	同左
事業費	11,620千円	※※※千円	※※※千円

412 介護に関する相談・情報提供体制の充実

地域包括支援センター(現在15センター、6分室)については、重点地区を設定し整備します。

また、地域の熟年者やその家族を継続的・包括的に支える地域包括ケアシステムの中核機関として、その機能を十分に発揮することができるような体制を整備します。

施策コード	412	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
地域包括支援センターの充実 再掲 409		船堀・篠崎地区の2か所を整備	必要に応じ、重点整備地区を設定し整備	必要に応じ、重点整備地区を設定し整備
事業費		18,000千円	※※※千円	※※※千円

413 介護に関する人材・ボランティア団体の育成

ボランティアセンターとの連携を図りながら、介護に関する人材・ボランティア団体を育成します。

また、区が、区内の専門学校卒業生を最長3年間、福祉・介護支援員(非常勤職員)として雇用し、福祉及び介護分野における多様な問題に対応できる人材として育成します。

施策コード	413	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
介護に関する人材・ボランティア団体の育成		熟年介護サポーターの育成・活動内容の拡充	同左	同左
事業費		3,661千円	※※※千円	※※※千円
社会福祉士等卒後連携事業		採用数9人(予定)	採用数10人程度	同左
事業費		74,816千円	115,530千円	115,530千円

414 認知症の高齢の人々に対する支援の充実

江戸川区医師会地域包括支援センターを中心として、認知症への理解を広く地域に浸透させるとともに、認知症ホットライン、総合窓口相談の設置、地域包括支援センターや介護サービス事業者等からの相談対応、認知症の早期発見、早期対応に努めます。併せて地域の関係機関との連携を推進します。また、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症に対する社会的な理解を深めるとともに、認知症サポーターの活躍の場等を検討します。

施策コード	414	年次計画		
		24年度	25年度	26年度
計画事業内容				
認知症地域ネットワーク 活用事業の実施		実施	同左	同左
事業費		7,035千円	※※※千円	※※※千円
認知症サポーター養成講座 の実施		1,000人	同左	同左
事業費		269千円	※※※千円	※※※千円

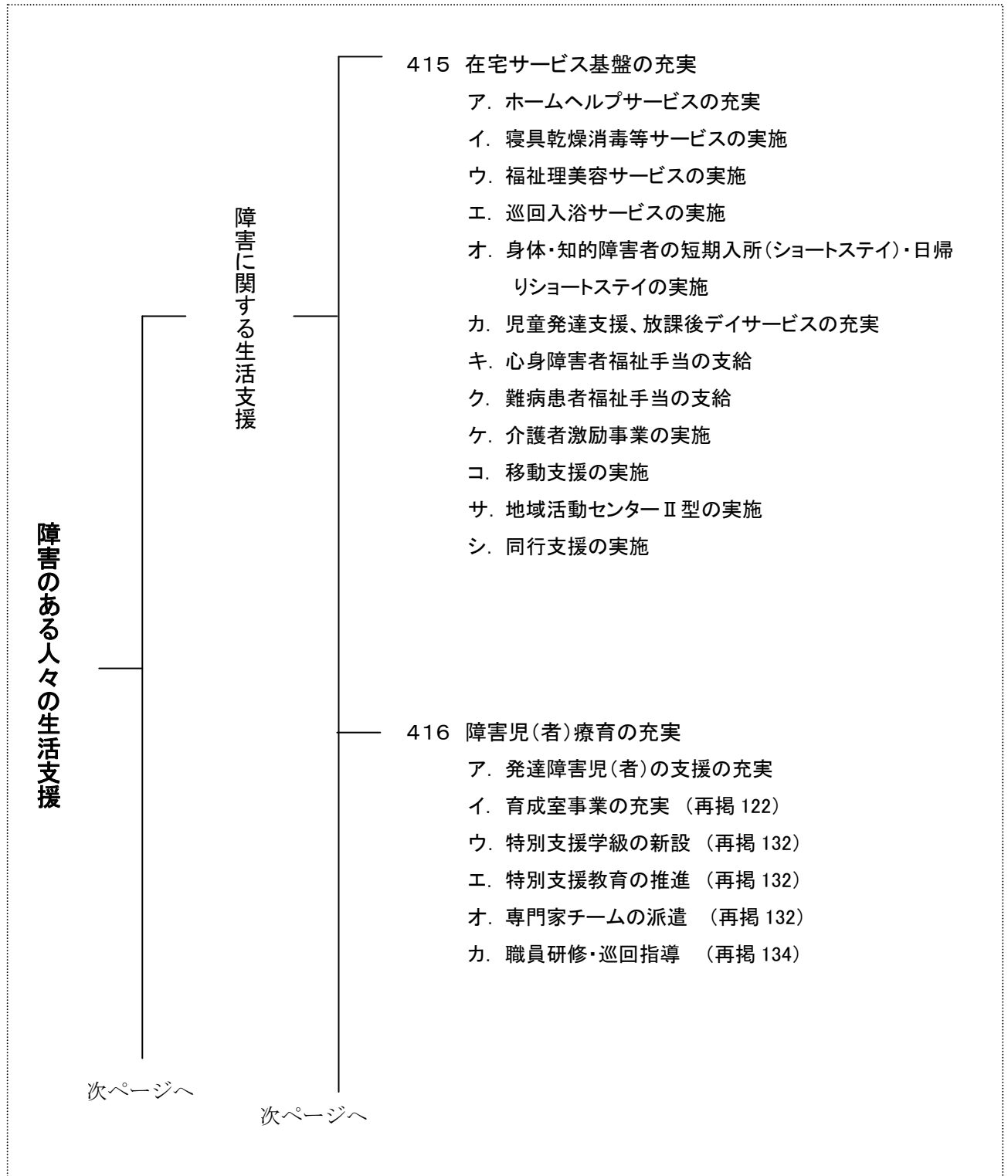
3 障害のある人々の生活支援

【施策の考え方】

身体、知的及び精神障害のある人々とその家族が、地域の中で自立して生活ができ、安心して毎日が暮らせるよう、地域生活支援の充実を図ります。また、生きがいをもって生活を営める環境を整えるため、職業訓練や就労の場づくり、安心して住める多様な住宅の整備、施設の充実等を進めます。

特に精神障害のある人々については、地域生活を支援するサービスの基盤整備を図り、医療と連携した生活相談、訓練等を通じた社会復帰を支援します。

【施策体系図】



前ページより

前ページより

- 417 障害のある人々の健康支援
 - ア. 江戸川区口腔保健センターへの事業補助
 - イ. 中途障害者へのリハビリテーションの実施
 - ウ. リハビリテーション相談
 - エ. リハビリテーションに関する知識及び技術の普及啓発
 - オ. 在宅リハビリテーション指導の実施
- 418 障害に関する身近な相談・情報提供体制の充実
 - ア. 地域自立支援協議会の開催
- 419 職業訓練と就労の場づくり
 - ア. 障害者就労支援センターの運営
- 420 生きがいと社会貢献の場づくり
 - ア. 福祉タクシー券の助成
 - イ. 自動車燃料費の助成
- 421 障害のある人々が安心して住める多様な住宅の整備
 - ア. 知的障害者グループホーム等の運営支援
 - イ. 民間賃貸住宅家賃助成
 - ウ. 住まいの改造助成
- 422 身近な地域での施設整備
 - ア. 区立障害者施設における指定管理者導入計画
 - イ. 区立障害者施設の充実
 - ウ. 希望の家新館建設

精神障害のある人々の
社会復帰への支援

- 423 自助グループなどへの支援
 - ア. 家族会が主体的に活動するための支援
- 424 社会復帰への支援
 - ア. 心の専門グループワークの実施
 - イ. 総合的相談体制の整備
 - ウ. 医療と連携した社会復帰支援
 - エ. 自立のための支援施策の充実
 - オ. 就労訓練や就労の場づくり
 - カ. 作業・レクリエーション・交流等を通じた居場所づくり
- 425 精神障害のある人々についての理解促進
 - ア. 民間事業者やNPO等サービス供給主体の指導・育成・相談体制の整備

次ページへ

前ページより

発達障害者(児)への
ライフステージに応じた支援

426 発達障害者(児)への支援

- ア. 早期発見のための乳幼児健診の充実 (再掲 416)
- イ. 相談体制の充実 (再掲 416)
- ウ. 発達障害児の親子グループへの支援 (再掲 416)
- エ. 関係機関との連携強化 (再掲 416)
- オ. 支援者への支援 (再掲 416)
- カ. 発達障害に係る普及啓発事業 (再掲 416)
- キ. ライフステージに応じた支援 (再掲 416)
- ク. 発達障害児を支援する人材の育成【新】(再掲 122)
- ケ. 発達障害児のための巡回相談の充実(再掲 122)
- コ. 育成室事業の充実 (再掲 122)
- サ. 特別支援学級の新設 (再掲 132)
- シ. 特別支援教育の推進 (再掲 132)
- ス. 専門家チームの派遣 (再掲 132)
- セ. 教育研究所の教育相談の充実 (再掲 131)
- ソ. 職員研修・巡回指導 (再掲 134)

(1)障害に関する生活支援

415 在宅サービス基盤の充実

障害者の社会参加の促進及び生活の質の向上を図るため、「江戸川区障害福祉計画」に基づき、障害福祉サービスの基盤整備の支援及び地域生活支援事業の充実に努めます。

施策コード	415	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
ホームヘルプサービスの充実		実施	同左	同左
事業費		4, 257, 524千円	※※※千円	※※※千円
寝具乾燥消毒等サービスの実施		実施	同左	同左
事業費		966千円	※※※千円	※※※千円
福祉理美容サービスの実施		実施	同左	同左
事業費		8, 500千円	※※※千円	※※※千円
巡回入浴サービスの充実		実施	同左	同左
事業費		50, 471千円	※※※千円	※※※千円

身体・知的障害者の短期入所(ショートステイ)・日帰りショートステイの実施	実施	同左	同左
事業費	48,405千円	※※※千円	※※※千円
児童発達支援、放課後デイサービスの充実	実施	同左	同左
事業費	17,552千円	※※※千円	※※※千円
心身障害者福祉手当の支給	実施	同左	同左
事業費	1,785,997千円	※※※千円	※※※千円
難病患者福祉手当の支給	実施	同左	同左
事業費	830,941千円	※※※千円	※※※千円
介護者激励事業の実施	実施	同左	同左
事業費	1,042千円	※※※千円	※※※千円
移動支援の実施	実施	同左	同左
事業費	426,271千円	※※※千円	※※※千円
地域活動センターⅡ型 [※] の実施	実施	同左	同左
事業費	99,825千円	※※※千円	※※※千円
同行支援の実施	実施	同左	同左
事業費	62,978千円	※※※千円	※※※千円

※ 地域活動支援センターⅡ型: 創作的活動等の提供等の他に、機能訓練、社会的適応訓練、入浴等のサービスを実施する機関。

416 障害児(者)療育の充実

育成室の充実や障害を有する児童一人ひとりに応じた、適切な教育支援ができるよう、特別支援学級の新設等を行います。

発達障害[※]に関しては乳幼児健診や集団の場等において早期発見できる体制の充実とあわせ、早期の発達支援につなげるため、「発達障害支援会議」や「発達障害庁内連絡調整会議」を中心とした関係機関との連携を深めます。また、発達障害に関する相談、親子グループ等の事業の支援等を充実させ、支援者向けマニュアルの作成や児童発達支援事業所等が実施する研修等への支援を行います。

さらに、ライフステージに応じた支援ができるよう、(仮)「発達障害者(児)支援センター」を設置し、これまで支援の狭間におかれてきた知的障害を伴わない発達障害者(児)への支援をします。

併せて、区民への理解を深めるため、普及啓発活動を実施します。

※ **発達障害**: 発達障害者支援法第2条の定義に基づき、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害(LD)[※]、注意欠陥多動性障害(AD/HD)[※]その他これに類する脳機能の障害であってその症状が低年齢において出現するもの。

※ **学習障害(LD)**: 基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すもの。

※ **注意欠陥多動性障害(AD/HD)**: 不注意、多動性及び衝動性を中心とした症状とする発達障害。

施策コード	416	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
発達障害児(者)の支援の充実	早期発見のための乳幼児健診の充実	同左	同左	
	相談体制の充実	同左	同左	
	発達障害児の親子グループへの支援	同左	同左	
	関係機関との連携強化	同左	同左	
	発達障害支援会議等の運営 連携の推進	同左	同左	
	児童発達支援事業所等支援実施	同左	同左	
	支援者向けマニュアルの作成 検討	作成	改訂	
	発達障害に係る普及啓発事業 リーフレット作成・配布 講演会実施	実施	同左	
	(仮)「発達障害者(児)支援センター」の設置 検討	同左	開所	
	発達障害支援コーディネーターの設置・検討	同左	設置	
	支援シート(カルテ)の作成 検討	同左	作成・活用	
	人材育成 関係機関との連携強化 再掲 122	同左	同左	
	巡回相談の充実 再掲 122	同左	同左	
事業費	——千円	——千円	——千円	
育成室事業の充実 再掲 122	療育の充実	同左	同左	
	発達相談の充実	同左	同左	
事業費	——千円	——千円	——千円	

特別支援学級の新設 再掲 132	知的障害・中学校 開設準備	知的障害・中学校開設 船堀小学校 開設準備	船堀小学校 開設 春江小学校 開設準備
事業費	——千円	——千円	——千円
特別支援教育の推進 再掲 132	特別支援教育推進校 の指定	同左	同左
	校内研修の実施	同左	同左
	専門研修の実施	同左	同左
事業費	——千円	——千円	——千円
専門家チームの派遣 再掲 132	実施	同左	同左
事業費	1, 772千円	1, 772千円	1, 772千円
職員研修・巡回指導 再掲 134	実施	同左	同左
事業費	——千円	——千円	——千円

「一」:事業費は、発達障害児(者)の支援の充実(施策コード 426)、発達障害児を支援する人材の育成【新】、育成室事業の充実、発達障害児のための巡回相談の充実(施策コード 122)、特別支援学級の新設、特別支援教育の推進、専門家チームの派遣(施策コード 132)、職員研修・巡回指導(施策コード 134)の中で計上しています。

417 障害のある人々の健康支援

障害者(児)等の歯科診療が、より効果的・効率的な運営が出来るよう、引き続き歯科医師会と連携し、運営支援を行います。また、理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士が、疾病や加齢により身体に障害のある区民のリハビリテーションに関する相談・支援を行います。

施策コード	417	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
江戸川区口腔保健センター への事業補助	運営支援	同左	同左	
事業費	90, 277千円	90, 277千円	90, 277千円	
中途障害者への リハビリテーションの実施	自立支援セミナー(リハ ビリ教室)の実施 62回	同左	同左	
事業費	715千円	715千円	715千円	
リハビリテーション相談	随時相談 (訪問・電話等) 相談日 年36回	同左	同左	
事業費	931千円	931千円	931千円	
リハビリテーションに関する 知識及び技術の普及啓発	講習会の開催 3回 リハビリテーション研修 2回	同左	同左	
事業費	180千円	180千円	180千円	

在宅リハビリテーション指導 の実施	リハビリテーション指導 (訪問・電話等)	同左	同左
事業費	216千円	210千円	210千円

418 障害に関する身近な相談・情報提供体制の充実

区内の障害福祉等の関係機関と連携しながら、適切な情報提供に努めます。併せて、地域自立支援協議会を運営し、障害者に関する施策の推進に関して、関係機関相互の連絡調整等を図ります。

施策コード	418	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
地域自立支援協議会の開催	3回	同左	同左	
事業費	625千円	625千円	625千円	

419 職業訓練と就労の場づくり

一般就労への移行を推進するため、「江戸川区障害福祉計画」に基づき、企業、養護学校、公共職業安定所等の関係機関との連携を図りながら、就労支援等に努めます。

施策コード	419	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
障害者就労支援センターの 運営	実施	同左	同左	
事業費	64,898千円	64,898千円	64,898千円	

420 生きがいと社会貢献の場づくり

障害者の自立と社会参加の拡大を図るため、外出困難な身体又は知的障害者に対し、タクシーの乗車に係る料金の一部を助成するとともに、一定の障害を有する身体障害者が自ら使用する自動車、一定の障害を有する身体障害又は知的障害者(児)の介護者が運転する自動車燃料費の一部を助成します。

施策コード	420	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
福祉タクシー券の助成	実施	同左	同左	
事業費	398,356千円	※※※千円	※※※千円	
自動車燃料費の助成	実施	同左	同左	
事業費	53,669千円	※※※千円	※※※千円	

421 障害のある人々が安心して住める多様な住宅の整備

障害者が、住み慣れた地域でいつまでも安心して生活が続けられるよう、グループホーム等の運営支援を行います。また、住まいの改造等、住居の整備を支援します。

施策コード	421	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
知的障害者グループホーム等の運営支援		実施	同左	同左
事業費		23,365千円	※※※千円	※※※千円
民間賃貸住宅家賃助成		実施	同左	同左
事業費		10,423千円	※※※千円	※※※千円
住まいの改造助成		実施	同左	同左
事業費		9,608千円	※※※千円	※※※千円

422 身近な地域での施設整備

区立知的障害者向け施設の定員増及びサービスの質の向上を図ります。併せて、障害福祉サービスの需要に柔軟に対応するとともに、その質の向上を図るため、区立障害者施設において指定管理者制度の導入を推進します。

施策コード	422	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
区立障害者施設における指定管理者導入計画		指定管理新規施設 運営開始 新規施設1カ所の選定	指定管理新規施設 運営開始 新規施設1カ所の選定 更新3カ所の選定	指定管理新規施設 運営開始
事業費		—千円	—千円	—千円
区立障害者施設の充実		定員489名	定員579名	同左
事業費		—千円	—千円	—千円
希望の家新館建設		工事	開設・運営	運営
事業費		914,202千円	※※※千円	※※※千円

「—」:事業費は、希望の家新館建設(施策コード422)の中で計上しています。

(2)精神障害のある人々の社会復帰への支援

423 自助グループなどへの支援

家族が互いの悩みや気持ちを分かち合い、精神的な負担を軽減することで、生き生きとした生活に結びつくよう、交流の場づくりや学習会・講演会の開催等の活動を支援していきます。

施策コード	423	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
家族会が主体的に活動するための支援		家族同士の交流会・家族会主催の講演会等の開催	同左	同左
事業費		200千円	200千円	200千円

424 社会復帰への支援

精神障害者の社会復帰の促進を図り、その自立と社会活動の参加を支援するため、地域活動支援センター、グループホーム等の運営支援、退院に係る関係機関との連絡調整、就労支援等を実施します。

施策コード	424	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
心の専門グループワークの実施		8か所	同左	同左
事業費		16,514千円	16,514千円	16,514千円
総合的相談体制の整備		地域活動支援センターI型*を中心とする相談支援	同左	同左
事業費		76,229千円	76,229千円	76,229千円
医療と連携した社会復帰支援		連携会議の実施 アウトリーチ事業活用	同左	同左
事業費		6,759千円	6,759千円	6,759千円
自立のための支援施策の充実		退院促進支援・居住支援・就労支援・自立生活体験各事業の実施	就労支援事業・自立生活体験事業の実施	同左
事業費		58,611千円	29,262千円	29,262千円
就労訓練や就労の場づくり		就労移行支援事業所等における取組みの実施	同左	同左
事業費		54,666千円	58,746千円	62,826千円
作業・レクリエーション・交流等を通じての居場所づくり		地域活動支援センターIII型*による活動	同左	同左
事業費		41,667千円	41,667千円	41,667千円

※ 地域活動支援センターI型：創作的活動等の提供等の他に、精神保健福祉士等を配置し、関係機関等との連携を図りながら、相談支援等を実施する機関。

※ 地域活動支援センターIII型：創作的活動等の提供等の他に、当事者同士の交流、スタッフへの相談等を通し、社会生活のステップア

ップを支援する機関。

425 精神障害のある人々についての理解促進

サービス事業者の資質向上を目指し、精神障害者に対する正しい知識と支援方法等を学ぶための講座・講習を開催します。また、支援施設・事業所で活動するボランティアを育成し、障害者に対する区民の理解促進を図ります。

施策コード	425	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
民間事業者やNPO等サービス供給主体の指導・育成・相談体制の整備		事業者研修・ボランティア養成研修の実施	同左	同左
事業費		139千円	139千円	139千円

(3) 発達障害者(児)へのライフステージに応じた支援

426 発達障害者(児)への支援

乳幼児健診や集団の場等において早期発見できる体制の充実とあわせ、早期の発達支援につなげるため、「発達障害※支援会議」や「発達障害庁内連絡調整会議」を中心とした関係機関との連携を深めます。また、発達障害に関する相談、親子グループ等の事業の支援等を充実させ、支援者向けマニュアルの作成や児童発達支援事業所等が実施する研修等への支援を行います。

さらに、ライフステージに応じた支援ができるよう、(仮)「発達障害者(児)支援センター」を設置し、これまで支援の狭間におかれてきた知的障害を伴わない発達障害者(児)への支援をします。

併せて、区民への理解を深めるため、普及啓発活動を実施します。

※ **発達障害**: 発達障害者支援法第2条の定義に基づき、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害(LD)※、注意欠陥多動性障害(AD/HD)※その他これに類する脳機能の障害であってその症状が低年齢において出現するもの。

※ **学習障害(LD)**: 基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すもの。

※ **注意欠陥多動性障害(AD/HD)**: 不注意、多動性及び衝動性を中心とした症状とする発達障害。

施策コード	426	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
早期発見のための乳幼児健診の充実 再掲 416		実施	同左	同左
相談体制の充実 再掲 416		実施	同左	同左
発達障害児の親子グループへの支援 再掲 416		実施	同左	同左
事業費		14,977千円	※※※千円	※※※千円

関係機関との連携強化 再掲 416	発達障害支援会議等 の運営 連携の推進	同左	同左
事業費	621千円	※※※千円	※※※千円
支援者への支援 再掲 416	児童発達支援事業所 等支援 実施	同左	同左
	支援者向けマニュアル の作成 検討	作成	改訂
事業費	1,000千円	※※※千円	※※※千円
発達障害に係る普及 啓発事業 再掲 416	リーフレット作成・配布 講演会実施	実施	同左
事業費	2,679千円	※※※千円	※※※千円
ライフステージに応じた支援 再掲 416	(仮)「発達障害者(児) 支援センター」の設置 検討	同左	開所
	発達障害支援コーディネーターの設置・検討	同左	設置
	支援シート(カルテ)の 作成 検討	同左	作成・活用
事業費	0千円	※※※千円	※※※千円
発達障害児を支援する人材 の育成 【新】再掲 122	人材育成 関係機関との連携強化	同左	同左
事業費	—千円	—千円	—千円
発達障害児のための巡回 相談の充実 再掲 122	巡回相談の充実	同左	同左
事業費	—千円	—千円	—千円
育成室事業の充実 再掲 122	療育の充実	同左	同左
	発達相談の充実	同左	同左
事業費	—千円	—千円	—千円
特別支援学級の新設 再掲 132	知的障害・中学校 開設準備	知的障害・中学校開設 船堀小学校 開設準備	船堀小学校 開設 春江小学校 開設準備
事業費	—千円	—千円	—千円
特別支援教育の推進 再掲 132	特別支援教育推進校 の指定	同左	同左
	校内研修の実施	同左	同左
	専門研修の実施	同左	同左

事業費	—千円	—千円	—千円
専門家チームの派遣 再掲 132	実施	同左	同左
事業費	—千円	—千円	—千円
教育研究所の教育相談の 充実 再掲 131	相談室4箇所	相談室4箇所	相談室4箇所
事業費	—千円	—千円	—千円
職員研修・巡回指導 再掲 134	実施	同左	同左
事業費	—千円	—千円	—千円

「一」:事業費は、発達障害児を支援する人材の育成【新】、育成室事業の充実、発達障害児のための巡回相談の充実(施策コード 122)、教育研究所の教育相談の充実(いじめ・不登校・発達障害等)(施策コード 131)、特別支援学級の新設・移設、特別支援教育の推進、専門家チームの派遣(施策コード 132)、職員研修・巡回指導(施策コード 134)の中で計上しています。

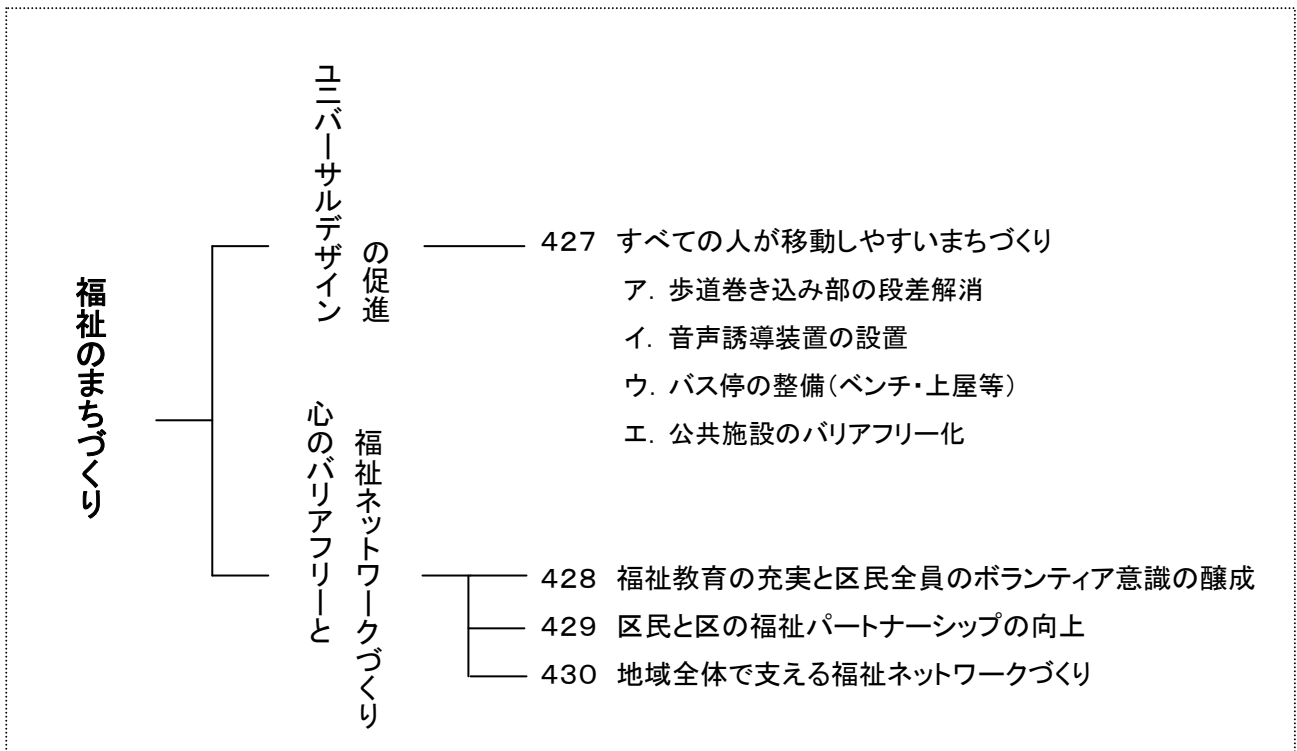
4 福祉のまちづくり

【施策の考え方】

歩道の拡幅、道路段差の解消、公共施設のバリアフリー化等を推進し、年齢、障害の有無等に関わりなく、区民誰もが活動の場を広げ、社会参加のしやすいまちづくりを進めます。

また、すべての区民がたすけあい、支えあい、ともに生きる社会をつくるために、子どもの頃から福祉の関心を高めるよう地域社会、学校、職場等のあらゆる場で心のバリアフリーを推進し、区民全員のボランティア意識の醸成、福祉ネットワークの形成等に取り組めます。

【施策体系図】



(1)ユニバーサルデザイン※の促進

427 すべての人が移動しやすいまちづくり

バリアフリー※のまちづくりを進めるために、歩道巻き込み部の段差解消、音声誘導装置の設置、バス停の整備等を推進するとともに、エレベーター、自動扉の設置等のバリアフリー化を推進します。また、誰もが利用しやすく快適に移動できる駅の整備を、鉄道事業者に要請します。

※ユニバーサルデザイン:年齢、性別、能力の有無等にかかわらず、どんな人でも使えるように設計されたデザイン。

※バリアフリー:人が生活する上で妨げとなる障害(バリア)が街、施設、道路、住宅、人々の意識、社会等から取り除かれた状態。

施策コード	427	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
歩道巻き込み部の段差解消		道路改修及び占用工事にあわせて改修	同左	同左
事業費		50,000千円	50,000千円	50,000千円
音声誘導装置の設置		3基	同左	同左
事業費		1,953千円	1,953千円	1,953千円

バス停の整備 (上屋・ベンチ等)	2箇所	同左	同左
事業費	10,080千円	10,080千円	10,080千円
公共施設のバリアフリー化	エレベーター設置1施設 手洗所改修10施設	エレベーター設置1施設 手洗所改修11施設	手洗所改修7施設
事業費	501,179千円	482,000千円	281,000千円

(2)心のバリアフリーと福祉ネットワークづくり

428 福祉教育の充実と区民全員のボランティア意識の醸成

福祉教育の充実により区民全員のボランティア意識の醸成を図ります。

429 区民と区の福祉パートナーシップの向上

地域で福祉を支えられるように、区民と区の福祉パートナーシップの向上に取り組めます。

430 地域全体で支える福祉ネットワークづくり

すべての人が地域の中で安心して社会生活が送れるよう、地域福祉を担う関係機関等の連携を強化していきます。